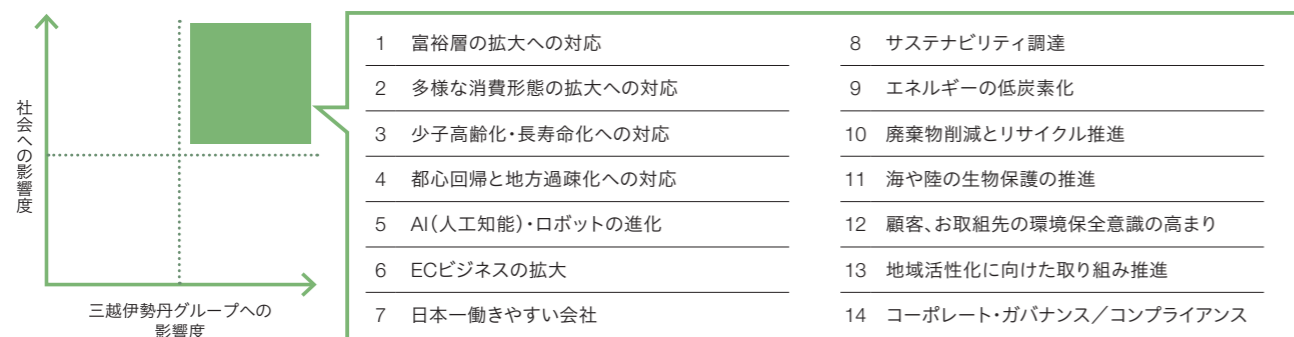


サステナビリティ経営／重点取り組み(マテリアリティ)

重点取り組み(マテリアリティ) 特定と見直しのプロセス

当社グループは、サステナビリティに関する課題を経営基盤を支える重要課題と捉え、サステナビリティ基本方針のもと取り組みを進めています。2018年には、経営会議(現 執行役員)での議論や外部アドバイザーからのご意見、お客さまからのアンケート結果を反映し、重要な社会や環境に関する課題を抽出し、その中から、世の中の課題やステークホルダーの皆さまからのご要望と、当社グループへの影響度双方を勘案し、重点取り組み(マテリアリティ)を選定しました。

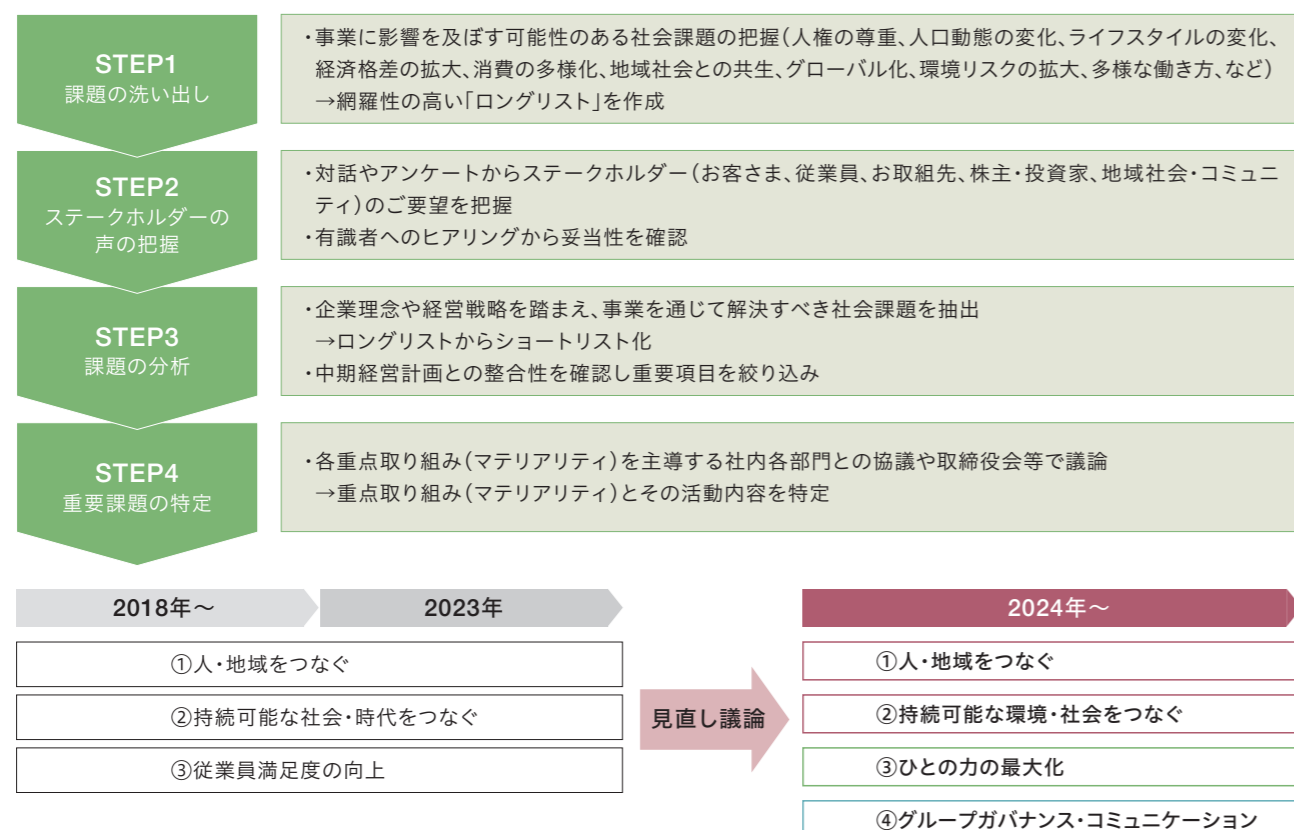
◇ 社会にも当社グループ事業にも影響の大きい項目



見直しのプロセス

昨今、人権や環境などの社会課題は深刻さを増し、ステークホルダーの皆さまからの当社グループへの取り組み要請も高まっています。マテリアリティの特定から5年が経過し、企業理念の再整理など社内状況の変化も踏まえ2023年度、約一年をかけて議論し見直しました。

これは、企業理念に立脚し中期経営計画とリンクしたマテリアリティへと見直すことで、従業員一人一人の業務により組み付いた、当社グループの強みを最大限に生かせるサステナビリティ経営を推進できることを目的としています。



重点取り組み(マテリアリティ)

本業を生かして取り組むことができる課題であるか、当社グループが取り組む意義があり、成果を上げることができる課題であるかという観点で4つの重点取り組み(マテリアリティ)を掲げました。

- ① 人・地域をつなぐは、当社グループの独自性ある事業活動そのものがサステナビリティの実践であることを示します。
- ② 持続可能な環境・社会をつなぐは、社会課題を踏まえて企業基盤を進化させ社会的責任を果たすことを目指します。
- ③ ひとの力の最大化は、従業員一人一人の成長が会社の成長へとつながる当社グループの人的資本の考え方を示しています。
- ④ グループガバナンス・コミュニケーションは、企業内部の全体統制と、自律的な管理体制の構築により適切かつ実効性のあるガバナンスを推進し、コミュニケーションを通じたステークホルダーとの良好な関係の構築を目指します。

重点取り組み	主な取り組み項目	
①人・地域をつなぐ	多様な価値観の尊重	・多様なニーズへの革新的な提案 ・新たなお悩み、お困りごとの感動的な解決 ・新たなつながりの創造
	地域社会との共創	・産業の活性化 ・まちの価値向上 ・社会貢献
	文化の継承と革新	・文化、伝統の継承 ・新たな文化の創造 ・次世代支援、育成
	取り組みの進捗 自治体、産業界などさまざまなステークホルダーと連携し、地域の魅力向上や文化・伝統の振興・継承に取り組む ・think good企画数 約750(2023年度実績)	
②持続可能な環境・社会をつなぐ	環境への取り組み	・温室効果ガス排出量削減 ・循環型社会の構築(4R等) ・生物多様性保全
	サプライチェーン・マネジメント	・持続可能なサプライチェーン構築 ・人権デュー・ディリジェンス ・品質管理
	取り組みの進捗 温室効果ガス排出量(2023年度実績速報値/2013年度比) △44.5%※第三者検証中 お取引先行動規範の通知 約12,000社、お取引先との対話 約600社(2023年度実績)	
③ひとの力の最大化	“魅力あふれる個”への進化 (自律的なキャリア形成)	・生涯CDP ・人財育成 ・経営人財の育成 ・専門人財の育成 ・自律的なキャリア支援 ・自律的に学ぶ機会の提供
	“多様な個”の組み合わせによる イノベーションの実現 (組織力の向上)	・DE&I ・グループ人財の流動化 ・事業実現人財の交流機会 ・女性活躍推進 ・両立支援制度 ・障がい者活躍推進の充実
	「ひとの力」を支える企業風土づくり (ライフワークバランスと対話文化)	・こころが弾む企業風土づくり ・マネジメント改革 ・人権に関する方針 ・ハラスメントゼロ ・適正な労働時間管理 ・ヘルス&メンタルケア(健康経営)
	取り組みの進捗 女性管理職比率 ※グループ計(2024年4月1日時点) 31.2% 男性の育児休業取得率 ※(株)三越伊勢丹(2023年度実績) 100% 障がい者雇用比率 ※(株)三越伊勢丹および首都圏主要グループ会社の合計(2024年6月1日時点) 3.00% 年間総実労働時間1,700時間達成企業の割合グループ23社対象(2023年度実績) 47.8% 従業員エンゲージメント調査回答率 ※グループ計(2023年度実績) 100%	
④グループガバナンス・コミュニケーション	コーポレート・ガバナンス リスクマネジメント コンプライアンス	